

安城市地域公共交通調査の内容について

(1) 調査の目的

あんくるバスは令和2年度では約41万人の方にご利用いただいておりますが、新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少、高齢化による自動車を運転できない高齢者の増加など、社会情勢の変化に伴い、公共交通の確保・維持に対する必要性は高まっています。

安城市では、安城市の公共交通が目指す姿を示し、それを実現するための基本方針や、実施するための事業を定めた「安城市地域公共交通網形成計画（平成30年度～平成34年度（令和4年度））」を策定し、平成30年度にはあんくるバスの路線・ダイヤの見直しや、名鉄バス安城線のデンパーク延伸等の各種利用促進に取り組んできました。

令和4年度に最終年度を迎える本計画の最終評価を実施するとともに、次期計画として、「安城市地域公共交通計画（仮称）」の策定を予定しています。安城市の交通をより良くする計画にするために、必要となる基礎資料を把握することを目的として、バスを利用された方を対象にアンケート及び乗降調査を実施します。

(2) 調査の種類とねらい

(Ⅰ) バス乗降調査 (p.2)

…路線別、便別、停留所別の利用実態（OD）及び公共交通相互の乗継利用等を把握

(Ⅱ) バス利用者アンケート (p.3,4)

…公共交通の満足度、改善事項、利用促進のアイデアなどを把握

(3) 設問内容

(Ⅰ) バス乗降調査 (p.5,6)

…8の設問内容を設定

(Ⅱ) バス利用者アンケート (p.7～18)

…32の設問内容を設定

(3) 調査の概要、調査項目とそのねらい

(I) 乗降調査

● 調査の概要

	内容
調査対象	あんくるバス全 11 路線、名鉄バス 2 路線（安城線、岡崎・安城線）の利用者
調査方法	トムソン抜き調査カード（ビンゴカード）を調査員が配布・回収
調査時期	あんくるバス：令和 3 年 9 月 19 日（日）、21 日（火） 名鉄バス：令和 3 年 9 月 22 日（水）、26 日（日）
備考	あんくるバス：調査日の全便・全利用者 名鉄バス：調査対象便（1 時間に 1 便程度）の全利用者 繰り返しの利用についても重ねて調査を行う

● 調査項目とそのねらい

項目	調査	調査のねらい
利用者回答分	問 1：性別 問 2：お住まい	属性情報として使用する。
	問 3：バスの利用目的 問 4：他路線への乗り継ぎ 問 5：バスの利用頻度 問 6：支払方法 問 7：往復利用の有無 問 8：最終目的地	バスの利用状況や利用特性を把握する。
調査員記入分	・乗降バス停（OD 調査） ・調査日、調査便、調査路線	OD 調査項目として使用する。

※OD 調査とは、起点（Origin）から終点（Destination）までを一体として把握する交通量調査のこと。

(Ⅱ) バス利用者アンケート

● 調査の概要

	内容
調査対象	あんくるバス全 11 路線、名鉄バス 2 路線（安城線、岡崎・安城線）の利用者
調査方法	調査員が乗降調査と同時に配布、郵送回収
調査時期	あんくるバス：令和 3 年 9 月 19 日（日）、21 日（火） 名鉄バス：令和 3 年 9 月 22 日（水）、26 日（日） 回収期限：令和 3 年 10 月 12 日（火）
備考	あんくるバス：調査日の全便・全利用者 名鉄バス：調査対象便（1 時間に 1 便程度）の全利用者 繰り返し利用者は最初の 1 度のみ配布

● 調査項目とそのねらい

項目	調査	調査のねらい
あなた自身の ことについて	問 1：性別 問 2：年齢 問 3：普段の自動車利用頻度 問 4：自動車の運転について 問 5：(60 歳以上)運転免許返納について 問 6：お住まい 問 7：(安城市民) ①町名 ②小学校区	以降の回答結果について、属性別の 分析をする上での基礎データとし て使用する。
当日のバスの 利用について	問 8：アンケートを受け取った日づけ 問 9：アンケートを受け取った路線 問 10：利用したバス停	バスの利用状況を把握する。
	問 11：乗り継いだ鉄道やバス路線	乗継の利用状況について把握する とともに、乗り継ぎ路線を集計し、 それぞれのサービスの連携につい ての検討材料とする。
	問 12：そのバスの利用目的 問 13：そのバスで行った最終目的地 問 14：普段のバス利用頻度 問 15：そのバスの利用傾向	バスの利用状況を把握するととも に、満足度と利用状況のクロス集計 により、路線別や利用状況別の満足 度や改善事項を分析する。
	問 16：往復利用の有無 問 17：(片道利用者) バスに乗らなかった片道の 交通手段 問 18：(片道利用者) 片道利用の理由	往復の利用状況について把握する とともに、理由、代替手段を集計し、 それぞれのサービスの連携につい ての検討材料とする。
当日利用した バスの満足度 と重要度	問 19-①：項目別の満足度、重要度 ＜満足度＞ 5 段階＋「判断できない」 ＜重要度＞ 4 段階＋「判断できない」 問 19-②：不満が解消された場合の利用意向	バスに関する項目別満足度を把握 する。 路線別や利用状況別の分析により、 属性別の改善事項を抽出する。 不満項目・重要度を抽出し、改善策 を検討する。

あんくるバスの取組みについて	問 20：バスロケーションシステムの認知 問 21：QR コード決済の導入 問 22：QR コード決済の希望種類	利便性を高める取組みの認知度や求められるサービスについての意向を把握する。
あんくるバスについて	問 23：利用者負担のあり方 問 24：あんくるバスに期待する役割	運賃体系や、あんくるバスの今後の役割の検討材料とする。
新型コロナウイルス感染症に伴う移動の変化について	問 25：外出の頻度 問 26：公共交通の利用の頻度 問 27：利用が減った目的 問 28：利用が減った理由 問 29：公共交通を安心して利用するための対策	新型コロナウイルス感染症に伴う利用者の移動の変化に関することを把握する。
公共交通の維持や利用促進に対する取組みについて	問 30：公共交通維持に向けた活動の参加意向 問 31：公共交通の維持に関する地域での取組み	公共交通の維持に関する住民参加についての意向を把握する。
自由記述	問 32：公共交通に関するアイデアやご意見	公共交通を確保維持するためのアイデアや、地域の公共交通に関するご意見等を募集する。

ご乗車中のあんくるバスの利用についてお答えください。

以下の設問について、該当する選択肢を1つ選んで折り曲げてください。

① 性別	男性	女性	② お住まい	安城市内	安城市外
③ このバスの 利用目的	通勤	通学	通院・ お見舞い	買物	習い事・ 趣味
	飲食・ 娯楽	業務	観光	訪問 (知人宅等)	その他
④ このバスの 次に乗り継ぐ 路線は ありますか	乗り継ぎ しない	JR 東海道本線	名鉄 名古屋本線	名鉄 西尾線	東海道 新幹線
	名鉄 バス	あんくる バス	あんくる タクシー	周辺市町 コミュニティバス	その他
⑤ このバスの 利用頻度	ほぼ 毎日	週に 数日程度	月に 数日程度	年に 数日程度	初めて 利用する
⑥ 今回の 支払方法	現金	IC カード	定期券	高齢者 無料	その他
⑦ 行き・帰りで 利用しますか	行きのみ 利用する	帰りも 利用する	⑧ 最終目的地	安城市内	安城市外

ご協力ありがとうございました。

この調査票はお降りの際に、調査員へお渡しください。

ご乗車中の名鉄バスの利用についてお答えください。

以下の設問について、該当する選択肢を1つ選んで折り曲げてください。

① 性別	男性	女性	② お住まい	安城市内	安城市外
③ このバスの 利用目的 ※帰宅の場合は 往路の目的を 選んでください。	通勤	通学	通院・ お見舞い	買物	習い事・ 趣味
	飲食・ 娯楽	業務	観光	訪問 (知人宅等)	その他
④ このバスの 次に乗り継ぐ 路線は ありますか	乗り継ぎ しない	JR 東海道本線	名鉄 名古屋本線	名鉄 西尾線	東海道 新幹線
	名鉄 バス	あんくる バス	あんくる タクシー	周辺市町 コミュニティバス	その他
⑤ このバスの 利用頻度	ほぼ 毎日	週に 数日程度	月に 数日程度	年に 数日程度	初めて 利用する
⑥ 今回の 支払方法	現金	IC カード	定期券	高齢者 パス	その他
⑦ 行き・帰りで 利用しますか	行きのみ 利用する	帰りも 利用する	⑧ 最終目的地	安城市内	安城市外

ご協力ありがとうございました。
この調査票はお降りの際に、調査員へお渡しください。

バス利用者アンケートのお願い

あんくるバスは令和2年度では約 41 万人の方にご利用いただいておりますが、新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少、高齢化による自動車を運転できない高齢者の増加など、社会情勢の変化に伴い、公共交通の確保・維持に対する必要性は高まっています。

安城市では、安城市の公共交通が目指す姿を示し、それを実現するための基本方針や、実施するための事業を定めた「安城市地域公共交通網形成計画（平成 30 年度～平成 34 年度(令和4年度)）」を策定し、平成 30 年度にはあんくるバスの路線・ダイヤの見直しや、名鉄バス安城線のデンパーク延伸等の各種利用促進に取り組んできました。

令和4年度に最終年度を迎える本計画の最終評価を実施するとともに、次期計画として、「安城市地域公共交通計画（仮称）」の策定を予定しています。安城市の交通をより良くする計画にするために、必要となる基礎資料を把握することを目的として、バスを利用された方を対象にアンケート及び乗降調査を実施します。

ご多忙の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力をお願いします。

令和3年 9月



安城市長 神谷 学

安城市総合交通会議 会長 伊豆原 浩二※

※特定 NPO 法人 ひと育て・モノづくり・まちづくり達人ネットワーク 理事長

記入にあたってのお願い

1. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**10月12日（火）までにお近くのポストに投函**してください。
3. ご回答いただいた調査内容は、個人情報の取扱いに十分留意したうえで統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。
4. このアンケートの返送先は、本調査の集計・分析を受託した(株)国際開発コンサルティングとしております。

＜お問い合わせ先 安城市 都市計画課 総合交通係 0566-71-2243＞

バス利用者アンケート調査票

■あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 無回答 |
|-------|-------|--------|--------|

問2 あなたの年齢を教えてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳以上 64歳以下 |
| 7. 65歳以上 69歳以下 | 8. 70歳以上 74歳以下 | 9. 75歳以上 |

問3 あなたは普段、自動車（自分で運転または家族や知人による送迎）を利用していますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に2～3回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に数回程度 | 5. ほとんど利用していない | |

問4 あなたは普段自動車を運転していますか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 運転している | } ⇒問5へお進みください。 |
| 2. 免許はあるが、運転していない | |
| 3. 免許を返納したため、運転していない | } ⇒問6へお進みください。 |
| 4. 免許を持っていないため、運転していない | |

問5 60歳以上の方におたずねします。自動車免許を返納しようと考えていますか。返納しようと思う年齢と、返納後に利用を考えている移動手段を教えてください。

①免許を返納しようと思う年齢（1つに○をつけてください）

- | | | | | |
|----------|-----------------------|---------|---------|---------|
| 1. 65歳頃 | 2. 70歳頃 | 3. 75歳頃 | 4. 80歳頃 | 5. 85歳頃 |
| 6. 90歳以上 | 7. いくつになっても返納するつもりはない | | | |

②免許返納後に利用を考えている移動手段（全てに○をつけてください）

- | | | | | |
|-----------------|-----------|---------------|-------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 鉄道 | 4. バス | 5. タクシー |
| 6. 家族・知人などによる送迎 | 7. シルバーカー | 8. その他（_____） | | |

問6 あなたのお住まいを教えてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------------------|--------------------|--------|--------------------|--|--------|
| 1. 安城市 | → 問7（3ページ）へお進みください | | | | |
| 2. 岡崎市 | 3. 刈谷市 | 4. 高浜市 | } 問8（4ページ）へお進みください | | |
| 5. 豊田市 | 6. 知立市 | 7. 碧南市 | | | 8. 西尾市 |
| 9. その他市町村（_____）市・町・村 | | | | | |

問7 あなたのお住まいの町名と小学校区を教えてください。

小学校区については、下記の【小学校区 区分図】を参考にお選びください。

①お住まいの町名（下記の□にご記入ください）

安城市

例) 里町

②お住まいの小学校区（該当する番号1つに○をつけてください）

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 安城中部小学校 | 2. 安城南部小学校 | 3. 安城西部小学校 |
| 4. 安城東部小学校 | 5. 安城北部小学校 | 6. 錦町小学校 |
| 7. 高棚小学校 | 8. 明和小学校 | 9. 志貴小学校 |
| 10. 桜井小学校 | 11. 作野小学校 | 12. 祥南小学校 |
| 13. 丈山小学校 | 14. 二本木小学校 | 15. 里町小学校 |
| 16. 桜町小学校 | 17. 桜林小学校 | 18. 新田小学校 |
| 19. 今池小学校 | 20. 三河安城小学校 | 21. 梨の里小学校 |

【小学校区 区分図】



■アンケートを受けとった当日のバス利用についておたずねします。

問8 このアンケートを受け取った日に該当する番号1つに○をつけてください。

1. ○月○日 (○)

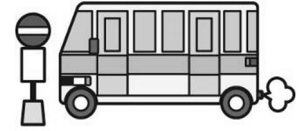
2. ○月○日 ()

問9 このアンケートをどちらのバスで受け取りましたか。該当する番号1つに○をつけてください。

<名鉄バス>

1. 名鉄バス 安城・岡崎線 (JR 安城駅～東岡崎駅)

2. 名鉄バス 安城線 (デンパーク～安城更生病院～JR 安城駅～新安城駅)



<あんくるバス> 【系統番号】

3. 【0】循環線 (右回り) 4. 【0】循環線 (左回り) 5. 【1】安祥線 6. 【2】桜井線

7. 【3】南部線 8. 【4】高棚線 9. 【5】東部線 10. 【6】西部線

11. 【7】作野線 12. 【8】北部線 13. 【9】桜井西線

問10 そのバスで、どちらのバス停を利用しましたか。

「乗ったバス停」と「降りたバス停」の名称を にご記入ください。

乗ったバス停名

降りたバス停名

問11 そのバスに乗る前、または降りた後に、鉄道や他のバス路線へ乗り継ぎましたか。

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 乗り継いでいない

<鉄道>

2. JR 東海道線

3. 名鉄名古屋本線

4. 名鉄西尾線

<名鉄バス>

5. 安城・岡崎線

6. 安城線

<あんくるバス> 【系統番号】

7. 【0】循環線 (右回り) 8. 【0】循環線 (左回り) 9. 【1】安祥線 10. 【2】桜井線

11. 【3】南部線 12. 【4】高棚線 13. 【5】東部線 14. 【6】西部線

15. 【7】作野線 16. 【8】北部線 17. 【9】桜井西線

18. あんくるタクシー (里町) 19. あんくるタクシー (高棚町・箕輪町)

20. あんくるタクシー (小川町)

<その他の公共交通>

21. タクシー 22. その他 ()

問12 そのバスをどのような目的で利用しましたか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 通勤 2. 通学 3. 通院・お見舞い 4. 買物 5. 習い事・趣味

6. 飲食・娯楽 7. 業務 8. 観光 9. 訪問 (知人宅等)

10. その他 ()

問 13 バスを利用してどこまで外出されましたか。

最終目的地として、該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------------------|--------|--------|---------|--------|
| 1. 安城市内 | 2. 岡崎市 | 3. 刈谷市 | 4. 高浜市 | 5. 豊田市 |
| 6. 知立市 | 7. 碧南市 | 8. 西尾市 | 9. 名古屋市 | |
| 10. その他市町村 () 市・町・村 | | | | |

問 14 そのバスを日頃どの程度の頻度で利用されていますか。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に 2～3 日程度 | 3. 週に 1 日程度 |
| 4. 月に数日程度 | 5. 年に数日程度 | |

問 15 そのバスの利用傾向を教えてください。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-----------------|
| 1. 主に平日に利用 | 2. 主に休日に利用 | 3. 平日、休日に関わらず利用 |
|------------|------------|-----------------|

問 16 そのバスは「行き」と「帰り」の往復で利用しましたか。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 往復で利用 ⇒ | 問 19 (p. 6) へお進みください。 |
| 2. 片道（「行き」または「帰り」）のみ利用 ⇒ | 問 17 へお進みください。 |

問 17 そのバスを「片道のみ利用」した方におたずねします。

そのバスを利用しなかった「行き」または「帰り」の移動手段を教えてください。

該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------|-------|
| 1. 自動車（家族等の送迎） | 2. タクシー | 3. 徒歩 |
| 4. その他 () | | |

問 18 往復でそのバスを利用しなかった理由を教えてください。

あてはまる番号 1 つに○をつけ、必要事項を にご記入ください。

1. 「行き」または「帰り」の時間帯にバスが走っていないため

⇒その時間帯とは

【 午前・午後 】

時

分

2. 「行き」または「帰り」の乗り継ぎの時間が合わないため

⇒乗り継ぐ場所（バス停名・駅名）

例）新安城駅

時間が合わない乗り継ぎ先

例）あんくるバス循環線

3. 「行き」または「帰り」は急いでいて、バスを利用すると時間がかかってしまうため

4. その他 ()

■すべての方に、当日利用したバスの満足度と重要度についておたずねします。

問 19-① 当日利用したバスのサービスや、乗り継ぎに関する以下の項目について、「重要度」と「満足度」をそれぞれ5段階で評価してください。
p.7 の回答欄にそれぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

例： 手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	
バスサービスについて	①運行本数
	②運行経路（ルート設定、立寄る施設など）
	③運行経路の分かりやすさ
	④自宅から最寄りバス停までの距離
	⑤降車バス停から目的地・施設までの距離
	⑥発車時刻の分かりやすさ（毎時 00 分発車など）
	⑦運行している時間帯
	⑧目的地までの所要時間
	⑨時刻どおりに到着すること
	⑩バス停での行き先案内・時刻表の見やすさ
	⑪バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）
	⑫バス停周辺での施設整備（駐輪場など）
	⑬乗り降りのしやすさ（あんくるバスは現在低床車両を使用）
	⑭バスの乗り心地
	⑮バス車内での案内表示のわかりやすさ
	⑯手持ちの路線図・時刻表の見やすさ
	⑰運賃・定期券の料金
	⑱運転手の対応
乗り継ぎについて	⑲乗り継ぎの際の待ち時間
	⑳乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ
	㉑乗り継ぎをする際の移動距離
	㉒乗り継ぐバス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）
㉓総合的な満足度	

[illegible]

問 19-② 問 19-①の現状の満足度で「1. 不満」「2. やや不満」を1つでも選択した方に伺います。不満が解消された場合、バスの利用はどうなりますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 今まで以上に利用する

2. 今までと同程度利用する

【あんくるバス利用者の方におたずねします】

※あんくるバス利用者以外の方は p.10 問 25 へお進みください。

■あんくるバスの取り組みについておたずねします。

バスロケーションシステムについて

バスロケーションシステムは、バスに設置する GPS を利用してバスの位置情報を収集し、バスの発車時刻や遅延状況等の運行情報をインターネット上で利用者に提供するシステムです。

右図の QR コードを携帯電話やスマートフォンで読み取り、インターネット上のサイトにアクセスすることにより、携帯・スマホであんくるバスの運行情報を把握することができます。



問 20 あんくるバスのバスロケーションシステムを利用していますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------------|---------|
| 1. 使っている | 2. 知っているが使っていない | 3. 知らない |
|----------|-----------------|---------|

問 21 近年、QR コード決済が様々な場所で利用できるようになっていますが、あんくるバスへの QR コード決済導入について、あなたの考えを教えてください。該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|----------|
| 1. 導入されたら利用したい | 2. 導入されても利用しない | 3. わからない |
|----------------|----------------|----------|

問 22 QR コード決済が導入されたら利用したい方（問 21 で 1. を回答された方）におたずねします。あんくるバスでは、どの決済サービスを利用したいですか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------------------------------|---------|
| 1. PayPay | 2. LINE Pay | 3. 楽天ペイ |
| 4. au PAY | 5. メルペイ | 6. d 払い |
| 7. FamiPay | 8. その他 () | |

■あんくるバスについておたずねします。

あんくるバスの運行には約3億3,000万円の事業費がかかっています。

あんくるバスは1乗車100円（1ヶ月定期券1,000円）という分かりやすく、低額の運賃としており、令和2年度の年度の運賃収入額は約2,100万円です。この他、国の補助金等（約1,300万円）の収入を全体の事業費から差し引いた約2億9,600万円（市民1人当たり約1,560円/年）を市が負担しています。

問23 現在、あんくるバスは、1乗車100円（一ヶ月定期券1,000円）を支払うことで、ご利用することができます。この利用者負担のあり方についてあなたの考えを教えてください。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 現在よりも運賃収入を増やすため、利用者の負担額を増やすべき
2. 現状程度の利用者の負担額でよい
3. 現在よりも利用者の負担額を減らすべき

問24 あんくるバスに期待する役割について、需要だと思うものを上位3つ選んで該当する番号をご記入ください。

① 通勤・通学するための交通手段
② 通院・買い物するための交通手段
③ 鉄道駅へ行くための交通手段
④ 市外の施設へ行くための交通手段
⑤ 市外から来訪する方たちにとっての交通手段
⑥ 観光をするときの交通手段
⑦ 自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段
⑧ 普段はバスを利用していないが、いつでも利用できるという安心感を与える役割
⑨ バス等の存在自体が、まちの活性化や活力につながるという役割
⑩ 安城市をアピールする資源となる役割

①～⑩の中で 重要だと思う項目	1位（ ） 2位（ ） 3位（ ）
--------------------	--

■新型コロナウイルス感染症に伴う移動の変化についておたずねします。

問25 直近1か月における外出の頻度について、コロナ禍前と比較して変化は生じましたか。
該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 1～2割減った | 2. 3～4割減った | 3. 5割以上減った |
| 4. 変化なし | 5. 増えた | 6. その他 |

問26 直近1か月における公共交通の利用について、コロナ禍前と比較して変化は生じましたか。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|--------------------|
| 1. 1～2割減った | 2. 3～4割減った | 3. 5割以上減った |
| 4. 変化なし | 5. 増えた | 6. 元々、公共交通は利用していない |

問27 公共交通の利用が減った方(問26で1.～3.を回答された方)におたずねします。
利用が減った目的を教えてください。該当する番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|------------|-------|------------|-------------|-----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院・お見舞い | 4. 買物 | 5. 習い事・趣味 |
| 6. 飲食・娯楽 | 7. 業務 | 8. 観光 | 9. 訪問(知人宅等) | |
| 10. その他() | | | | |

問28 公共交通の利用が減った方(問26で1.～3.を回答された方)におたずねします。
利用が減った理由を教えてください。該当する番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. テレワーク・オンライン授業など、勤務・学習形態が変化したため |
| 2. 交代勤務や休校など、通勤・通学日数が減少したため |
| 3. 不要不急の外出を控えたため |
| 4. 公共交通の利用は、感染リスクが不安だったため |
| 5. 移動手段を公共交通から自家用車に変えたため |
| 6. 移動手段を公共交通から自転車・徒歩に変えたため |
| 7. その他() |

問29 全ての方におたずねします。ウィズコロナ、アフターコロナの時代に、公共交通を安心して利用するためには、どのような対策が効果的だと思いますか。該当する番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 換気や消毒の実施状況を駅や車内で放送・表示して周知する |
| 2. 接触を減らすためキャッシュレス決済を導入する |
| 3. 時差出勤の活用や自転車・徒歩等の併用により混雑を緩和する |
| 4. テレワークやオンライン授業等により混雑を緩和する |
| 5. その他() |

公共交通の維持や利用促進に対する取組みについておたずねします。

問 30 近年、地域住民（自治会や NPO 等の団体）が主体となり、バスのルートやダイヤの検討や、住民目線でのバス情報の発信による利用促進の取組みなど、地域の公共交通を維持するという試みが愛知県内をはじめとし、全国各地で行われています。安城市でも、地域が主体となった取組みを実施する場合、その取組みについてのあなたの考えや参加意向を教えてください。
該当する番号 1 つに○をつけてください。

（半田市事例）

●市報への市民リポーター乗車体験記の掲載

市民リポーターがコミュニティバスに乗り、行程や感想などの情報を投稿。

スイーツの食べ歩きコースの紹介や、上手な乗継ぎ術など、市民目線のバス情報を発信。



●地区バス会の設立・運営

コミュニティバスの路線改善や交通空白地域の解消に向けて、地区バス会を設立。立ち上げ後は、バス運行についての勉強会や、アンケート調査を実施。



1. 積極的に参加したい
2. できるだけ参加したい
3. 参加は控えたい
4. 行政及び交通事業者で検討すればよい
5. その他 (_____)

問 31 今後、あなたが地域の公共交通を維持するために、地域で取組んでもよいと思うものは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 地域でバスの協賛金（募金など）を出して負担する
2. 地域で1ヵ月定期券を購入し、自治会・町内会などで販売・配布する
3. 地域で定期的なバスを活用した利用促進イベントの実施する
4. 地域で定期的にバスについて話し合う場を設置する
5. 地域で運転手を確保し、バス（ワゴン車両など）を走らせる
6. 地域がバスの利用状況を確認し、住民へ周知・PRする
7. その他（_____）

■公共交通を維持確保するためのアイデアについておたずねします。

問 32 こんなバスがあったら便利！こんなイベントを行えば公共交通の利用が増える！
こんな所にバス停があれば、バスを利用する！
など、公共交通の利便性を高めるアイデアについて記入をお願いします。

＜記入例＞地域住民が主体となってバスを運行する。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
10月12日（火）までにお近くのポストに投函してください。

